

仕様書

1 業務名

令和８年度兵庫県災害廃棄物対策研修業務

2 目的

本仕様書は、兵庫県（以下「甲」という。）が_____（以下「乙」という。）へ委託する「令和８年度兵庫県災害廃棄物対策研修業務」の実施に関して必要な事項を定める。

3 業務内容

以下の業務を実施する。なお、甲が指定する日時及び場所において、甲が招集する参加者（80 名程度を想定）に対して実施すること。座学研修及び図上演習、仮置場設置訓練においては、適宜ファシリテータ役等を乙が確保すること。

（１）座学及び図上演習

座学及び図上演習の会場（80 名程度収容想定）の手配については甲または実施自治体が調整・用意・費用負担するものとし、座学及び図上演習に使用する資料や資機材は乙が準備すること。

① 座学

災害廃棄物処理に必要な基礎知識や災害廃棄物処理の全体の流れ及び自治体職員の役割等について、災害対応の経験のない自治体職員が理解を深められるように分かりやすく説明を行うこと。また、能登半島地震等の最新の災害廃棄物処理に関する有用な知見や事例を紹介すること。座学は半日（午前）の実施を想定する。

②図上演習

災害発生時に自治体職員が対応すべき事項をシミュレーションできる災害廃棄物対策に係る図上演習を実施すること。演習は地震や風水害等の具体的な災害を設定したうえで、仮置場の設置・運営管理等、自治体職員の対応が必要となるテーマを設定した演習プログラムを策定し演習の運営を行うこと。図上演習は半日（午後）の実施を想定する。

（２）仮置場設置訓練

グループワーク及び実地訓練を行う仮置場候補地及び演習等の会場（80 名程度収容想定）の手配については甲または実施自治体が調整・用意・費用負担するものとし、乙は実施自治体や担当官と調整の上、当日の運営を支援するほか、訓練等に用いる資料・資材等を準備するものとする。

実地訓練で使用する車両及び廃棄物（模擬的な資材）は自治体等の所有する物資を活用することを前提とするが、用意できない場合や不足する場合は、実施自治体や担当官と協議の上、乙が必要物資を用意することとする。

①グループワークの実施

仮置場レイアウト（廃棄物の配置、車両動線等）、設置（看板、区画等）、運営管理（受

付、廃棄物の積み下ろし等)に係るグループワーク(参加者によるシミュレーション等)を実施する。グループワークは半日(午前)の実施を想定する。

② 実地訓練の実施

(2) ①で作成した仮置場レイアウト(複数ある場合は1つを選定)を実際に配置し、参加者は、責任者、搬入係、受入係等の事前に設定した役割を担って実地訓練(参加者によるシミュレーション)を実施する。実地訓練は半日(午後)の実施を想定する。

(3) 事後評価

参加者の本業務に対する感想、効果等を収集するためのアンケートを実施したうえで、結果のとりまとめ、図上演習、実地訓練の評価、災害への備えの改善策の検討を実施すること。

4 実施状況の報告

(1) 進捗状況報告及び協議

委託期間中、業務の進捗にあわせて、随時、途中経過の報告を行うこと。また、委託者から業務進捗状況等の報告を求められた時は、速やかに報告すること。

(2) 業務報告書及び納期

① 業務報告書

業務報告書(A4) 1部(電子データ格納CD-R 1枚)

② 納期

令和9年3月12日(金)

5 契約期間

契約締結の日から令和9年3月12日(金)まで

6 その他留意事項

本仕様書に記載のない事項等、疑義のある場合は、別途協議し定めるものとする。